



# 氏貞公墓前祭

本年は承福寺による法要、  
公の遺徳を偲ぶ

第八十代大宮司宗像氏貞公の法要が命日の三月四日、  
菩提寺である承福寺の埜村住職以下二名によって営まれ、  
この地に住み代々墓守を続けてこられた占部一族、地元  
今門地区の皆様、当大社より高向宮司が参列し公の遺徳  
を偲んだ。

氏貞公は十六世紀後半の戦国時代末期を、大友氏、龍  
造寺氏、島津氏、毛利氏等の大勢力が北部九州を支配化  
に置こうと鎬を削る中、懸命に神郡宗像を守り抜いた英  
傑である。又、乱世にあつて辺津宮や中津宮の本殿再建を  
はじめ、神郡宗像内の荒廃した社寺の復興にも努められた。

しかし病をこじらせ、天正十四年春(一五八六)蔦ヶ岳  
城で四十二歳の若さでこの世を去られた。氏貞公は自ら  
の死を三年間秘すよう遺命された為、亡骸は占部右工門  
が竹皮籠に納め深夜密かに上八村「乙尾の丘上・老松の  
下」に埋葬された。

この墓前祭は昭和六十年より当大社と承福寺が隔年  
で奉仕している。郷土を守り抜いた中興の祖・氏貞公御  
一代の生涯に思いを馳せ、我々も更なる神徳宣揚に心を  
尽くす誓いを新たにしたい。

4月祭事暦	
1・2日	春季大祭 (1日目) 午前11時～一日祭 (2日目) 午前11時～二日祭 午前11時40分～ 高宮祭・第二宮・第三宮祭 宗像護国神社 春祭 交通安全講社祭
15日	月次祭 午前10時～ 高宮祭・第二宮・第三宮祭 午前11時～ 総社祭
17日	沖・中両宮春季大祭 午前11時～ 於=大島・中津宮
29日	昭和祭 午前11時～

## お見舞い

この度の東北地方太平洋沖地震で被災されました  
方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、  
一日も早いご復興をお祈り申し上げます。

宗像大社



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

神具・装束・授与品



装束店 〒600-8503 京都市下京区油小路通六条上る  
フリーダイヤル 0120-075-980  
福岡店 〒812-0068 福岡市東区社領1-12-10-401  
フリーダイヤル 0120-055-092  
授与品店 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23  
フリーダイヤル 0120-075-820

木組の家 匠の技

総合建築業

# 株式会社 弘江組

〒811-3406 福岡県宗像市稲元4丁目20 電話(0940)32-2567



# 松尾神社祭齋行

## 境内末社・松尾神社で 神酒醸造に感謝

春を思わせる好天に恵まれた三月十九日、新酒醸造を無事に終えたことを奉告し感謝の誠を捧げる恒例の酒造報賽祭が、境内・松尾神社で酒造関係者参列の下齋行された。

大前には玄海の海山の幸、醸造されたばかりの新酒が供えられ、宗像大社氏子会々長、

当大社の御神酒を醸造している勝屋酒造(「榎の露」・伊豆本店(「神酒宗像」)の代表者が参列、午前十一時に祭典が執り行われた。

修祓の後、昨年暮に仕込んだ新酒が芳醇に出来たことを感謝すると共に今後も酒造元が益々栄える様祈念する祝詞が葦津禰宜により奏上され、各々玉串を奉奠した。

引き続き本殿においても報賽祭を齋行、宗像大社への神恩を感謝



本殿で玉串を奉げる勝屋酒造の山本社長

し、玉串を捧げて祭典は終了した。

松尾大神は古くより酒の神として知られ、酒造業を営む人々に篤く信仰されてきた。総本宮は京都に鎮座する松尾大社であり、御祭神は大山咋と当大社辺津宮の市杵島姫命である。それが末社として鎮座される由縁である。

昔より「酒造りは、子育てと同じ」と言われ、経験と技術は無論、慈愛の心を持って酒造りしなければコクのある吟醸酒は出来ないといわれ、杜氏は自信と誇りをもって取り組んでおられる。若者の日本酒離れが進む昨今、私たち日本人は伝統のある清酒を大切にしたい。



## 人事異動(神職)

4月1日付で人事異動を左記の通り行いました。

宮司 高向 正秀  
禰宜 葦津 幹之

神宝館々長 庶務部長 社務本局長 文化財管理事務局長 氏子青年会事務局長(兼)

権禰宜 杉山 安彦  
渡邊 秀丸

祭儀部長 宗像護国神社管理主任(兼) 宮司兼務社管理主任(兼) 経理部長 海洋分局長

長友 貞治

祭儀部 会計課長 主基地方風俗舞保存会事務局長(兼) 氏子青年会事務局員(兼)

佐々木大治

祭儀部 儀式課長 氏子会幹事(兼)

中原 裕生

祭儀部 賽務課主任 氏子会幹事長(兼)

神島 亘

宗像大社菊花会事務局長(兼) 祭儀部 儀式課員 氏子会幹事(兼)

坂本 敬

庶務部 庶務課員 海洋分局主任(中津宮)

御床 直之

庶務部 広報課主任 氏子会幹事(兼)

大塚 宗延

庶務部 広報課主任 氏子会幹事(兼) 宗像大社菊花会事務局員(兼)

吉野 理

庶務部 広報課員 宮司秘書(兼)

松林 拓

経理部 用度課主任 氏子会幹事(兼) 主基地方風俗舞保存会事務局員(兼)

鈴木 祥裕

庶務部 庶務課員 氏子会幹事(兼) 宗像大社菊花会事務局員(兼)

日高 庸介

祭儀部 儀式課員 氏子会幹事(兼)

船越 裕介

祭儀部 儀式課員 氏子青年会事務局(兼)

祭儀部 儀式課員 氏子青年会事務局(兼)



# 渡邊禰宜、神宮五大祭 「祈年祭」へ出向奉仕

## 宗像三神の御親神・伊勢神宮にて

毎年、神宮より特別の御配慮により実施されている神宮五大祭奉仕は、一般神職が神

宮の祭典に奉仕できる唯一の機会です。四十七都道府県に割当られます。平成二十三年二月



伊勢神宮 (内宮)

写真提供/神宮司庁

十七日の内宮・祈年祭には愛媛・高知・長崎・福岡・大分各県より一名が出向し御奉仕する事になり、この度その御奉仕の機会を頂



祈年祭の様子



御正宮へ参進される勅使・祭主以下奉仕員の方々

き、当社より渡邊禰宜が伊勢神宮へ出向し祈年祭の御奉仕を勤めました。

神宮の五大祭とは二月の祈年祭、六月・十二月の月次祭、十月の神嘗祭、十一月の新嘗祭で、皇大神宮(内宮)と豊受大神宮(外宮)はじめ一五二社で斎行されます。中でも祈年祭、神嘗祭、新嘗祭は、天皇陛下の名代として勅使が参向する重要な祭りです。

神宮の祭典は、外宮先祭として、先ず外宮での祭典が行われます。祈年祭は外宮で午前四時より「大御饗」(お食事奉進)が、午前七時より「奉

幣」(天皇陛下よりの幣帛奉納)が行われます。内宮は、午前十一時の「大御饗」、午後二時の「奉幣」と行われます。祈年祭当日は、皇居にて天皇陛下が神々にこの年の稔りをお祈りされ、その由を神宮にお告げになるため勅使を差し遣わされ、幣帛を捧げられます。

祈年祭奉仕では、一般神職には所役はありませんでしたが、池田厚子祭主、大宮司以下神職二十余名の後に引き続き奉仕させていただきました。神宮祭祀を拝見し体感することができました。神宮祭式には「八度拜」といわれる独特の作法があり、斎館参籠中に神宮神職より祭式の説明・指導を受け、特に八度拜は念入りに作法の確認を行いました。

祈年祭の祭典は、全てが大きな緊張感の中で進行してゆきました。特に「奉幣」では大宮司、少宮司の御正宮御扉の開扉の儀を拝見し、鳥肌の立つのを覚え、祭主様の殿内伺候の儀では、中央の瑞垣御門の帳が所役により巻き上げられると、昭和天皇第四皇女・池田厚子祭主様がゆつくりと瑞垣内にお入りになられご奉仕される。その尊きお姿に皇室の長い歴史を思い、感動・畏れを感じました。そして祭りは勅使御祭文奏上、大宮司祝詞奏上と続き、その間、笏拍子の合図により瑞垣内にて俯伏(額が地面につく位)する。静寂の中、目の前にあるお白石のみを見つめながら、神宮の悠久の時空の中、この一瞬、この空間に存在する事の不思議さを、そして有難さを強く感じた瞬間でした。

この日、数日前の雪が所々に白く残る瑞垣内、御正宮は風雪に耐え全体に黒く厳かに鎮まり、御遷宮が近づいている事を体感致しました。



司、少宮司の御正宮御扉の開扉の儀を拝見し、鳥肌の立つのを覚え、祭主様の殿内伺候の儀では、中央の瑞垣御門の帳が所役により巻き上げられると、昭和天皇第四皇女・池田厚子祭主様がゆつくりと瑞垣内にお入りになられご奉仕される。その尊きお姿に皇室の長い歴史を思い、感動・畏れを感じました。そして祭りは勅使御祭文奏上、大宮司祝詞奏上と続き、その間、笏拍子の合図により瑞垣内にて俯伏(額が地面につく位)する。静寂の中、目の前にあるお白石のみを見つめながら、神宮の悠久の時空の中、この一瞬、この空間に存在する事の不思議さを、そして有難さを強く感じた瞬間でした。



# 神道青年九州地区協議会 英霊顕彰事業「台湾出身戦没者慰霊祭」 〜当大社より長友権禰宜が出向〜

神道青年九州地区協議会  
(九州地区の四十歳以下の青年神職で組織)の英霊顕彰事業として、去る二月二十二〜二十四日までの三日間、台湾で初めて純神式による台湾出身戦没者慰霊祭が執り行われ、長友安隆会長(宮崎県・青島神社宮司)以下役員・会員二十三名の奉仕団は二十二

日、福岡空港より台湾へと渡った。

取り壊され、忠烈祠や廟が建てられた。そのような中、慰霊祭を奉仕させて頂いた旧桃園神社は現地住民や学識者の熱烈な要望により奇跡的にその姿を変えることなく保存されている。

先の大東亜戦争に於いて約二十万人の台湾人が日本軍人・軍属として出征し、その内約三万人が戦死・戦病死している。そして、二七、八六四柱の御霊が靖国神社に祀られている。

また、台湾には台湾神宮をはじめ、戦前まで約六十八社の海外神社が鎮座していたが、戦後国民党政府の入植によりその多くが

一行は旧桃園神社跡に到着後、早速に祭場舗設並びに習礼を行い、長友会長が斎主を務め台湾出身戦没者慰霊祭が、盤渉調の楽奏(当大社の長友権禰宜は雅楽を奏でる伶人として参加)の中厳肅に斎行された。

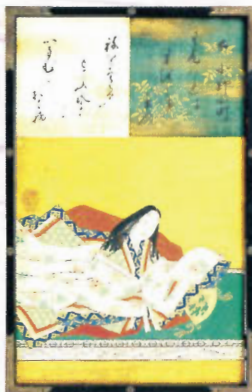


## 特別公開「歌人たちの競演」

〜宗像大社所蔵五組の三十六歌仙図扁額〜

桃山〜江戸時代にかけて、宗像大社へ奉納された三十六歌仙図扁額を特別公開します。年に一度、期間限定の貴重な特別公開。和歌の趣、大和絵の美が融合する雅の世界をどうぞ堪能下さい。

小野小町 延宝八年 黒田光之奉納



会期 平成23年4月15日(金)〜6月6日(月)

会場 宗像大社 神宝館 3階展示室

拝観料 ●大人 500円  
●大学・高校生 300円  
●中・小学生 200円  
◎15名以上は1名に付100円引

※展示替え作業のため下記日程で開館状況を変更します。どうぞご了承下さい。

会期前: 平成23年4月13日(水)、14日(木)  
神宝館1階、2階展示室を開館。拝観可。

会期後: 平成23年6月7日(火)、8日(水)  
神宝館1階展示室のみ開館。拝観可。

英霊の大きな功績を讃へつても、戦後六十六年が経った今も両国は正しき国交が結ばれていない現状を憂い、また今後変はらぬ世界平和、そして台湾の行く末を担ふ若者を守り導き頂くよう祈念する祝詞が奏上された。祭典には参加会員の他、先輩神職、建設業関係者、更に観光に訪れた方々

も足を止め祭典に参列をされていた。  
戦後六十六年が経ち、現在我が国が平和であることに對する感謝の念が徐々に薄れゆく中、参加者一同この平和の礎となられた台湾出身の英霊の大恩に報いるべく、これからも神道教化を通し公益に資して行く事を固く誓いあった。



## 宗像大社菊花会・(社)全日本菊花連盟九州地区 新年総会並菊作り講習会を開催

二月二十六日、宗像大社菊花会の新年総会並びに菊作り研修会が神湊の魚屋旅館で開催され、千々和会長以下約八十名の会員が出席した。

新年総会では、第四十一回大会の行事予定について論議がなされ、事務局が提示した日程で概ね了承を得た。また昨年節目の年を迎えた第四十回

大会の記念誌を作成した事を事務局より報告した。

記念誌には菊花大会の大輪・盆栽・懸崖の三部門で実績を残されている先生方による惜しみない寄稿、長年審査員として会にご尽力され、現在顧問の吉田徹生先生にこれまでの大会の歩みを寄稿いただきなど充実した内容となっている。



総会終了後は、全菊連九州地区菊作り講習会が行われ、先ず(社)全菊連石原睦生理事による「公認審査員の心得及び審査基準について」と題した講習会が行われ、審査員の資格を有する方には重視する点を、また会員には審査基準を詳しく説明いただき、出品の際の注意点をとお話いただいた。

続いて、国華園主催の全国菊花大会において昨年七度目の日本一を受賞され、大菊作りにおいては現在最高の技術を有され

ている、宮崎菊花会の中村年輝会長に講師をお願いし「私の大菊作り」と題し講演頂いた。

いづれも受講者からの質問が絶えず、予定時刻を惜しむように終えられ、その後の懇親会では、講師の中村先生も交えて会員一同互いの菊作りについて話は尽きないまま平成二十三年の新年総会並びに菊作り研修会は閉会した。

尚、今年の第四十一回大会は十一月一日(火)～二十二日(火)までの開催日となっております。今秋も是非菊花を愛でにご参拝下さい。



## 沖津宮現地大祭のご案内

本年も年に一度、沖ノ島へ渡島参拝できる沖津宮現地大祭を5月27日齋行致します。  
下記、要項で参拝者を募集致しますので、ご希望の方はお申込み下さい。

### 参拝心得

- ①この祭典は、国家の命運をかけて明治38年5月27日沖ノ島北西洋上より行われた日本海海戦を卜して齋行するものであり、魚釣りや遊山、遺跡調査等での渡島はお断り致します。
- ②沖津宮祭祀遺跡のご説明は行いますが、聖域のため立ち入りは出来ません。
- ③御神水以外は、一木一草一石たりとも持ち帰りは出来ません。
- ④厳重なる掟により、婦女子の参拝は固くお断り致します。

### 参拝要項

- ①沖津宮奉賛初穂料として、1名に付20,000円をお納め頂きます。
- ②ご希望の方は、当大社にご連絡いただき「申込書」をお取り寄せ下さい。  
必要事項をご記入の上、ご返送いただいた時点で受付と致します。
- ③約200名の定員となっておりますので、受付先着順で定員になり次第募集を終了致します。
- ④前日(5月26日)18:00より、渡島安全祈願祭を齋行し、説明会を行いますので、それまでに大島へ渡島頂きます。
- ⑤年齢70歳以上の方、健康状態が良好でない方、長時間の乗船に耐えられない方はご遠慮下さい。
- ⑥海上模様等で沖ノ島渡島が中止になった場合は、大島の遥拝所で祭典を齋行致します。



お申し込み・お問い合わせ先 宗像大社・祭儀部 電話(0940)62-1311



# 九州女子短期大学生 職場体験学習

二月二十一～二十六日まで

の六日間、当社に於いて九州女子短期大学生四名が職場体験学習を行い、神社における様々な社務を神職・巫女らとともに

に行った。

この取り組みは、文部科学省の大学就業力育成支援事業の一つとして、学生と社会人の間にプレ社会人を設け、各



域域においてプチインターンシップを実施する事により、学生の社会人基礎力を育成し、若い力を地域に還元する事で、地域活性化を図る事を目的に行われている学生育成事業であり、当大

地域においてプチインターンシップを実施する事により、学生の社会人基礎力を育成し、若い力を地域に還元する事で、地域活性化を図る事を目的に行われている学生育成事業であり、当大

社もこの趣旨に賛同し受け入れる運びとなった。  
女子学生四名は、初日の二十一日朝、緊張した面持ちで来社、朝拝に参列後紹介が行われた。その後、早速白衣・緋袴姿になり、神社における奉仕心得・宗像大社の由緒などを学んでいたが、初日を終了した。  
二日目は神職の指導で辺津宮境内(高宮・第二宮・第三宮)、神宝館などを見学、午後からは本殿・祈願殿で実際の社頭奉仕を巫女の指導受け、授与する際の言葉使いや立ち振る舞いに気を配りながら、参拝者への守札授与などを体験した。  
三日目は大島に渡島、中津宮・御嶽神社や島内の各関係施設を参拝し、午後からは境内の福みくじ授与所でおみくじの授与を行った。  
四日目は以降は、車祓のご祈禱奉仕や神前結婚式の準備助勢、雅楽や巫女神楽の鑑賞など神社のあらゆる祭典や行事・社務を体験いただいた。

験いただいた。

今回の体験学習を通して、社会人として役立つ事が一つでも得られたなら今回の研修の意義があったように思う。今回体験された方々の今後の活躍を心より祈念しております。

## 余滴

過日、弥生十一日に起きた東北地方太平洋沖地震での容赦のない自然の猛威が全てを飲み込む映像が目に見え、焼き付いて離れない。一方、海外の報道ではこの大惨事に際し、日本人の暴動も略奪も起こさず、秩序ある行動に対し敬服し賞賛の言葉が数々寄せられた。元来、神社は、海・川・山・石等に神を見、地震・噴火・台風・日照り・大雨など自然災害の鎮めの祈りから生まれたものである▼人間の力では抗えないような自然の大きな力に対し畏怖し、豊かな恵みには感謝を捧げてきたのである。

新年度を迎え、新たなスタートに際し何かと感謝の気持ちが溢れる時期であっただけに胸が詰まる▼モノに溢れ衣食住に恵まれる事が当然であるかのような現在では、これらに対する感謝の気持ちは一昔前と同じであろうか。実のところこの欄で今の日本には「惻隠の情」が薄れてきたのでは?と書く予定であった。これは他人の不幸を自分の事のように痛み悲しむ気持ちの事である。被災者に寄せられた全国民の真心は、まさに惻隠の情では無かつたろうか。今こそ我々は手を取り合い、これまでの平々凡々の日々が当然なのではなく自然に対する感謝と畏怖の念を改めて思い起こすときである。そして、此の惨禍より復興した後も後世に確実に語り継ぐこともまた、我々の責務であろう。共に、心から鎮めの祈りを捧げたい。

(長)



(続)

# 浜の寄物

254

いしいただし



昨年十一月三日に、古賀市の鹿部山(丁R古賀駅後方の山)の麓にある田淵遺跡が保存整備され「みあけ史跡公園」として開園した。古賀市で、はじめての遺跡保存整備であった。

この遺跡は古賀市都心計画事業鹿部山地区区画整理事業によって、平成十一年に一次調査が行われ掘立柱建物、西側の区画溝、広場(空閑地)な

ど古墳時代後期(約一五〇〇年前)の大型建物群が発見された。調査は平成二十二年まで十次にわたって行われ、六次調査でも建物群や柵列が確認された。

発掘された建物群の概要を述べる。「建物群の遺構は六世紀中頃〜七世紀初頭のもので、一次・六次調査で見つかった。東西を溝で区画された建物群は、掘立柱建物四棟をし字状に配置した企画性の高い建物配置を行い、建物の北東域に空閑地(広場)を設けている。

また、建物3と建物4の間には溝に沿って柵列1が組み立てられていた。建物の西側には区画の溝に平行して幅60m程の間に掘立柱建物が三棟建ち、南から北へ建物1、建物3、建物4



また、建物3と建物4の間には溝に沿って柵列1が組み立てられていた。建物の西側には区画の溝に平行して幅60m程の間に掘立柱建物が三棟建ち、南から北へ建物1、建物3、建物4

歴史の見える丘



古賀市では発掘された建物柱列群に盛土をして保存、平成十九年度から学校教育、生涯学習に広く活用をし



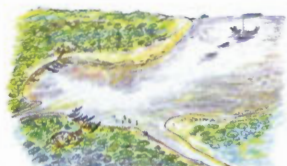
みあけ史跡公園・周辺案内図

掘立柱建物二棟で建物2(床面積70・57㎡)と建物3(床面積118・70㎡以上)がある。これらの床面積は広く、建物群の中心的な建物となっている。特に建物3は海がある西に厩を設けるなど、建物群の外側(西)を意識した建物構造をもつ。これらの建物は主として作業や政務の場として利用されたと思われる。総柱建物は二棟である。建物1(床面積17・58㎡)と建物4(床面積16・47㎡)はほぼ同規模の建物で、建物群の

西側、東を区画する溝の内部には三本の掘立柱が見つかった。この建物群が、日本書紀に記されている糟屋屯倉ではないかという説が浮上した。継体天皇二十一年(五二七)六世紀前半、筑紫国造磐井が北九州に起した叛乱で、大和朝廷の朝鮮経営の失敗によって、負担が大きくなった北九州地方の不満を代表したものとみられ、新羅と通謀したともいう。物部氏らによって五二八年平定された。福岡県八女市の岩戸山古墳は磐井の墓と伝えられる(広辞苑)。継体紀には乱に敗れ「十二月に、筑紫君葛子・父のつみに坐りて謀せられむことを恐りて、糟屋屯倉を献りて死罪贖はむことを求す」とあり、これが田淵遺跡ではないかという。

でもらうため、建物群の主要部分を歴史公園として整備。また平成二十二年七月には、福岡県指定史跡となった。そして平成二十二年十一月に「みあけ史跡公園」として開園。柱列群に直径30cm、高さ約3mの木柱をたてて復元整備、二ヶ所に透視板を設け、柱列群の建物・内部の様子などが見られるようになっていた。また駐車場下の壁面を利用し、古賀の歴史がイラストで描かれている。次回は出土遺物から考えてみたい。

西側、東を区画する溝の内部には三本の掘立柱が見つかった。この建物群が、日本書紀に記されている糟屋屯倉ではないかという説が浮上した。継体天皇二十一年(五二七)六世紀前半、筑紫国造磐井が北九州に起した叛乱で、大和朝廷の朝鮮経営の失敗によって、負担が大きくなった北九州地方の不満を代表したものとみられ、新羅と通謀したともいう。物部氏らによって五二八年平定された。福岡県八女市の岩戸山古墳は磐井の墓と伝えられる(広辞苑)。継体紀には乱に敗れ「十二月に、筑紫君葛子・父のつみに坐りて謀せられむことを恐りて、糟屋屯倉を献りて死罪贖はむことを求す」とあり、これが田淵遺跡ではないかという。



玄界灘を渡る船



鹿部田淵遺跡想像復元図



第五九六回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メット



宗像市 土穴 山本 静子
解するにあらねど永き伝統の雅楽に見入る初の舞台に
初めて見る雅楽の舞台の伝統の重さに打たれた作者。
解するにあらねどは初めて見るとあれば不要。

北九州市 八幡西区 豊田 光子
恵方巻き寿司一本をもてあます胃の腑はずでに齢を知れり
節分の行事になった恵方巻。下の句に老いの嘆きとユー
モアも。結句はへ知りてに。

福津市 若木台 山崎 公俊
三尺に満たざる苗木(二五〇〇エン・口無シ)とあり神苑植木市
売られている梔子の苗の札の表記に目を留めた作者の眼。口
無シだと逆に木にも口があつて話したりできそうに思える。

宗像市 日の里 大和美由紀
風邪癒ゆる兆しなりしか今朝の夢春りんどうの咲く山巡る
風邪にも負けない作者。春りんどうが効いている。二
句はへなりしや〜と切ると語感が柔らかい。

福津市 若木台 野間 精一
ナンジャモンジャの苗木の新芽にさやりみる移植一年冬を越したり
愛情が感じられる歌。移植した苗に託し、自身の無事
な冬越しをも喜ぶ作者だろう。

福岡市 南区 加野シノブ
春陽や団地の畑に大根の莖々立ちはてて花芽つけおり
育ちすぎの大根の花芽に目を留めた一首。四句は、は
ててを抑え(莖莖と立ち)に。

宗像市 武丸 白土 凌一
大雪で身もちぢまんや氷張る春待ちどうし鳥の鳴き声
春を待つ作者。言葉を整理しへ大雪と氷張る日にちぢ
む身は鳥の来て鳴く春待ちどおし。

福津市 中央 池浦千鶴子
しのびよる老い振り払ふ様にして赤きセーターに着替へ出でゆく
元気で洒落な作者が魅力的。二・三句へ老いは払はん
新しき赤き〜などとしては。

うきは市 浮羽町 向 則正
あのにがきせんぶりたびたび葉湯にして母親が飲ませくれたり
せんぶりの苦さは母の味なのか、母への感謝と懐かし
さが素直に詠まれた歌。

宗像市 曲 天野 玲子
銀髪とよくも名付けしわが髪は落ちたる一本光るを見れば
生活の中の発見が多い作者。二句はへよくぞ〜結句はへし
ろがねに光る〜などとしても。

福津市 星ヶ丘 佐々木和彦
ビー玉の芯に炎と燃えてゐる嵌め殺しの紅揺るることなし
子供のころ色つきのビー玉は宝物だった。嵌め殺しは
表現として面白いが、先ず窓を連想するので、下の句
をへ封じられたる紅揺らがさる〜などと。

北九州市 戸畑区 田中ハツセ
植えかへし二鉢の梅白々と蕾も交る寒風の中
寒い日が続く中にも確かに近づくと春を作者は見ている。
四句はへ蕾ふくらむ〜ではないかが。

宗像市 田久 巻 桔梗
よそとせを九国に住まひ六つの花懐しむのわがころぐし
言葉探しに意欲的な作者。九国は九州。心苦しは言わ
ず、六つの花の具体や描写に言葉を使いたい。

福岡市 南区 井田有久衣
購えるハーモニカ手にさて何を吹くかと思案「殖生の宿を」
新しいハーモニカに弾む心が素直に詠まれている。四
句へ吹くと思案し〜とすると言葉がなだらかにつながる。

北九州市 八幡西区 遠藤 幸子
春の陽光に櫻の梢の明るみて芽吹きの時を静かに待つらし
春を待つ気持を櫻の梢に託した一首。陽光をひと読ま
せるのは少し無理、日か陽に。

連音詠
世話をせぬ蘭にこの年ふたたびの
花咲き出づるを吉兆と決む
森林のなかの一樹をさがすこと
一首をもとめ全歌集繰る

第五七一回

俳句作品集

宗像市 武丸 白土 凌一
梅の木にメジロ見付け春を知る

宗像市 日の里 花田いつ枝
デコポンの形おもしろや亀鳴けり

編集後記

ご覧の通り、今月号よりフォーマットの更に伴い、紙面の意匠をはじめ、ご高齢の方にも読みやすい書体にするなどの改善を行いました。また、新年度となり年齢三十の新しい広報課員が編集者として加わりました。次号より彼が中心となって編集してまいりますので、今後ともよろしく願ひ申し上げます。さて、戦後最大の国難となつた東日本大震災。未だ行方不明者が一万人を超える中、大学時代最も親しかった南相馬市の友人が被災、安否を確認するのに四日かかりました。彼の奉務神社は海岸から約4\*内陸の高台にあり、本人も家族も無事でしたが、鳥居や石垣が崩れ祭祀は滞っているようです。津波が到達するまで30分程あつたようですが、多くの方々が命を落とし、家を失うなどされたのは報道の通りです。さらに原発の半径30\*圏内にも入っており、新潟へ避難、今後富山へ移るようです。一家に何か取りに帰ってたらダメだった。それで沢山やられてる。津波がね。原発が余計だった。被災者であり、体験者である彼の言葉が頭から離れません。(塚)

発行所
宗像大社社務所・宗像会

住所 千八一一三五〇五
福岡県宗像市田島三三三
電話 (〇九四〇六二一一三一一)代
発行人 葦津幹之
編集人 大塚宗延・松林拓
制作・印刷 ゼネラルアサヒ

毎月1日発行
定価1年送料共 1,000円